

# 鈴木いくお ニュース

## 速報! 小・中学校にエアコン設置へ

### 《 質問項目 》



1、Aコープ 行田店の直売所について

2、子宮頸がん・ヒブワクチン助成について

3、猛暑対策について (熱中症)



4、道路整備について

本行寺~旭中の道路・ヤマダ電機付近の陥没道路について

5、丸山地域の小型バス運行について

## Aコープ行田店の直売所について

来年10月予定のAコープ行田店の直売所設置についてなぜ市から依頼したのか?

農業振興計画の中で時代にあった販売体制づくりとして直売所を掲げている。

100円ショップなど活かした店舗運営になるのか概要について伺う。

コンサル契約を結んだところで方向性等は現時点で決まっておられません。



(来年10月直売所に)



# 道路整備について



旭町2丁目本行寺～旭中の通学路において先日、陥没が発生しました。雨天時は、通学する中学生の靴もびしょびしょにぬれて大変であり長津川も溢れる状況です。市民は大変、不安を抱いていますが早急な対策を伺う。

## (本行寺～旭中の道路)

当面の対策として雨水浸透枡等の取水施設の増強を図りましても冠水軽減は難しいことから市としては、排水管並びに取水施設の能力増強を同時に図る必要があります。今後、実施に向けて検討してまいります。

塚田クリニックから踏切を渡りヤマダ電機に向かう前貝塚町と行田町、北本町2丁目が交差する道路は道路が陥没しガードレールも斜めに傾き森林が生い茂り、缶などのゴミが散乱している状態であるが擁壁など崩落防止の対策を伺う。



## (ヤマダ電機付近の崩落した道路)

現在、下水道工事実施中であり今年度に舗装の仮復旧、来年度本復旧を予定、この工事に合わせ斜面側の排水施設であるアスファルトカーブの復旧及びガードレールの補修を実施してまいります。土留めについては早々の対応は難しいと考えています。

# 子宮頸がん・ヒブワクチン助成について

モナコで2月に世界最大の子宮頸がん学会が開催され子宮頸がんは「予防の時代」に入ったことを強く印象づけられました。ワクチンと検診とのセットで子宮頸がんは防ぐことができますのでワクチン助成をぜひ推進すべきではないのか？

また、細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチンについては、罹患した新生児において30%が死亡しています。生存しても10%~20%に脳性まひ・精神遅滞などが起き学習障害などの後遺症が残っていますので『悲しんだお母さんの顔は見たくありません』のでヒブワクチンの助成についても推進すべきではないか？

子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチンも含め複数回の接種が必要であり保護者等の経済的支援・子育て支援の観点から具体的に検討してまいります。



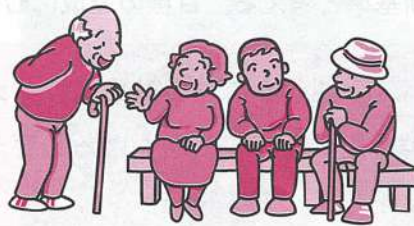
# 猛暑対策について (熱中症)

救急搬送は昨年と比べてどのように変化しているのか？

6・7・8月で昨年は31人、今年は163人と急増している。

救急搬送業務に支障はなかったのか？

非常用救急車が稼働できるよう準備しているため支障はありません。



\*熱中症対策としてヒートアイランド対策や高齢者の見守りを民生委員・町会等で行うことが絶対条件になるのでその連携等について質問しました。



# 丸山地域の小型バス運行について

## 1, 運行計画

- ・路線定期運行：一日20便程度
- ・運行時間：6時台～21時台
- ・運行間隔：約45分間隔
- ・所要時間：約30分
- ・運行距離：一周5.0キロ



## 2, 運賃

- ・大人170円、小人90円
- ・PASMO等使用可能。バス特適用。

**(小型バス25人乗りバリアフリー)**

大人170円、小人90円（未収学児無料）と運賃も提示され一日20便の予定で人件費や燃料費等で一日6万円と見積もったものですが他の自治体で実施しているコミュニティーバスのほとんどが赤字です。第九回船橋市地域活性化協議会では、『今年度からの実証実験で乗る方が少なければ極端な話やめます。』と明言しておりますがどのくらいを想定しているのか伺う。

一日105人1便あたり5～6人を上回ることが来年度以降実験を継続するための1つの判断基準と考える。目標の達成にむけチラシ等で周知していく予定です。

小型バスの運行を成功させるには、会社などに協賛等を呼びかけたり、バス停などに広告を出すなど収入増を図る必要があります。収入増に向けた工夫を考えているのか伺う。

協賛金等は、有効な施策ですので具体的に検討してまいります。

